

タネノネタとは

田根でプロジェクトを続ける中で、先輩方が「見た、感じたたくさんのモノ・コトを羅列した一種の辞書のようなもの」。私の思うタネノネタの魅力は写真や図を多用して、字が少ないため非常に親しみやすくどこからでも読めて、関連ページも示されていること。そしてなにより手に取って読むことができる本であること。

介入方法

「田根」について紹介している「タネノネタ」。私の介入方法はそのタネノネタの「自分バージョン」を作成することで、自分がどれだけ他人に知られてしまうのかを実感。そうすることで実際に行ったことのない田根をタネノネタを読むだけでどれだけ知ることができるのか実感することができると考えた。

本質

タネノネタは「一種の辞書のようなもの」と紹介されていたが、介入を通して、特に読者の声を聞いてからより「写真集」に近い本だと思えるようになった。内容よりもめくりたくなるデザイン。字だけ取っても各ページごとに配置、大きさ、色すべて思考が凝らされており、必要最低限の情報がすんなりと頭に入ってくる。つまり、165ページという量でありながら読者を飽きさせず、「田根」というほとんどの人が知らない土地でも興味を持って見るように作られている。

マユコの コユマ

「マユコのコユマ」と題した私、大泉真悠子を紹介する30ページにわたる冊子を作成した。タネノネタ同様、写真を毎ページに入れて、字も少なくした。

私に関連することを隅から隅まで取り上げて、ページの順序も1ページ目以外は規則性、関連性は持たせていない。あえて言うなら関連ページが離れるようにし、わざと読者に本をめくらせることを促している。自分なりに改善したのが、すべてのページの書式やデザインを統一し、関連ページも数字だけでなくその題を記した。

読者の意見

作成した「マユコのコユマ」を7人の方に読んでいただき、「タネノネタ」と比較した上で意見を聞くことができた。デザインがキャッチーじゃない。中身はそんな見ないから、むしろインパクトを。内容よりも印象、興味が湧いたら字を読む。タネノネタはそのデザイン性から写真集的なおもしろさがある。「次はなんだろう」って思わせられる。全ページ統一するのは親切すぎて次が予測できてしまうし飽きる。統一したレイアウトにするなら写真の大きさや文字位置まで正確に。読んでいる人が気になったページに飛べるのは良い。ページ数は重要だからもっとこだわってキャッチーに。

茅ヶ崎 Greenacre School for Girls
ダンス歴 フルーツ
浜須賀小学校 鎌倉
大泉真悠子 鎌倉女学院 家庭教師 イギリス

日本 EM
ソロプチミスト House Captain
SFC 鎌倉十橋 華道 ダンス部部長 W+I&S AO 入試 ZARA テラスモール 映画 歌 早稲田塾 辻堂駅

タネノネタ
タネノネタ
Keio University Kobayashi Hiroto lab

大泉真悠子 2014.04.30